

元サッカー日本代表・松井 大輔氏が本学客員教授に就任

～世界を舞台に活躍したトップアスリートから学ぶスポーツ経営学！～

京都橋大学（京都市山科区、学長：日比野英子）では、2025年4月、経営学部経営学科に新しくスポーツ経営学専攻を開設します。このたび、元プロサッカー選手の松井大輔氏の客員教授就任が決定しましたのでご報告いたします。

松井氏は京都市山科区生まれで、トップアスリートとして、世界を舞台に長く活動を続けてこられました。現役引退後は、サッカー指導者や解説者に転身し、さらには一般社団法人日本フットサルトップリーグの理事長に就任するなど、今もなお様々なことにチャレンジをされています。

客員教授としては実践的な視点から、スポーツがもたらす地域や社会への影響、社会におけるスポーツの役割について学生にむけて講義を行っていただきます。また、発展的な学びとして、学生が運営する日本フットサルリーグのイベント企画や、教員との共同研究・事業連携も予定しています。

スポーツ経営学専攻では、松井氏の客員教授就任を通じて座学での学びだけでなく、プロスポーツチームや企業、行政などとタイアップし、スポーツを軸に経営やマネジメントを実践する力を養成するための教育を提供していきたいと考えています。

【松井 大輔 氏プロフィール】

1981年5月11日 京都市山科区生まれの元プロサッカー選手。京都市立大宅小学校、大宅中学校、藤森中学校、鹿児島実業高校を経て京都サンガでプロデビュー。

以降フランス、ロシア、ブルガリア、ポーランド、ベトナムの海外5カ国9クラブを渡り歩き活躍。国内でもジュビロ磐田、横浜FC、Y.S.C.C.横浜でプレーし、J1からJ3までのプレー経験を持つ。2021年にはプロサッカー選手とプロフットサル選手の二刀流に挑戦し話題を集めた。日本代表では2004年アテネオリンピック、2010年南アフリカワールドカップに出場し、国際舞台でも活躍した。2024年2月に現役引退を発表。

現役引退後は、横浜FCアカデミーサッカースクールコーチと浦和レッドダイヤモンズアカデミーロールモデルコーチ、一般社団法人日本フットサルトップリーグの理事長、解説者としてマルチに活躍をしている。



【経営学部経営学科スポーツ経営学専攻 概要】

2025年4月より経営学部経営学科に新たにスポーツ経営学専攻（入学定員：50人）を開設します（従来の経営学科は経営学専攻となり2専攻制として改組）。スポーツと産業をマッチングさせ、新たなビジネスを生み出す知識とスキルを持った人材の養成を目指します。

専攻名称：スポーツ経営学専攻

開設時期：2025年4月

入学定員：スポーツ経営学専攻 50名（経営学専攻 210名）

学びの特徴：

【スポーツ×経営学で、これからの社会を牽引する人材を養成】

専門領域としてスポーツをテーマに実践的な経営学を学びます。また経営学の観点からスポーツを「する」「みる」「ささえる」「つくる」ことに視点をおいて多角的にアプローチします。広い視野で社会におけるスポーツの未来や可能性について考える力を養うことができます。

▼学部サイト



●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橋大学広報課 担当：前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp